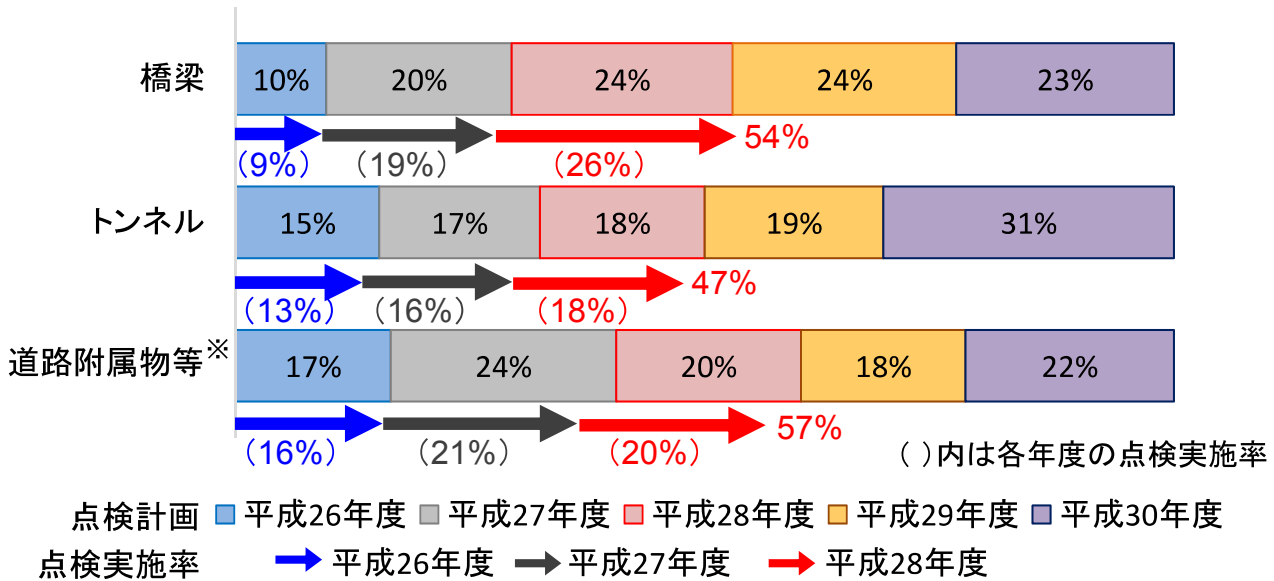


道路メンテナンス年報(平成28年度)の概要

橋梁、トンネル等の点検実施状況

○ 平成26～28年度の点検実施状況は、橋梁54%、トンネル47%、道路附属物等57%と着実に進捗。

平成26～28年度の点検実施状況

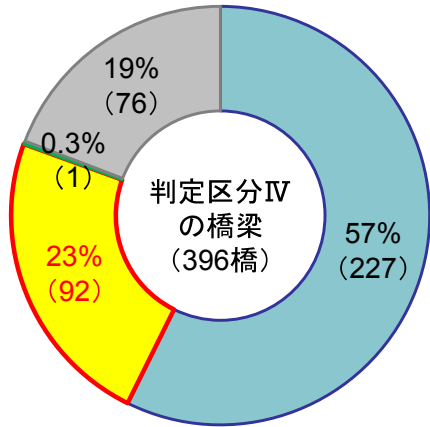


*道路附属物等: シェッド・大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

修繕・措置の実施状況

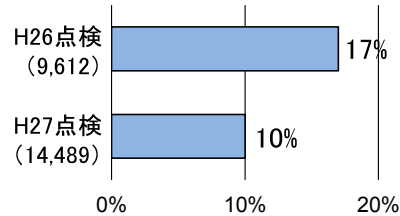
- 平成26～28年度に判定区分Ⅳと診断された橋梁のうち、23% (92橋) が撤去・廃止済み又は撤去・廃止予定。
- 平成26・27年度に点検を実施した橋梁の修繕着手率は、事後保全型 (判定区分Ⅲの修繕) で約1～2割。
- 予防保全型 (判定区分Ⅱの修繕) はまだ進んでいない状況。

判定区分Ⅳの橋梁の措置状況※1 (予定含む)

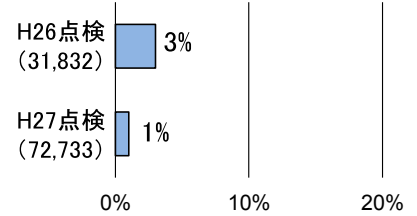


事後保全型、予防保全型の橋梁の修繕着手率※2

事後保全型 (判定区分Ⅲの修繕)



予防保全型 (判定区分Ⅱの修繕)



■ 修繕 ■ 撤去・廃止 ■ 機能転換 ■ 未定

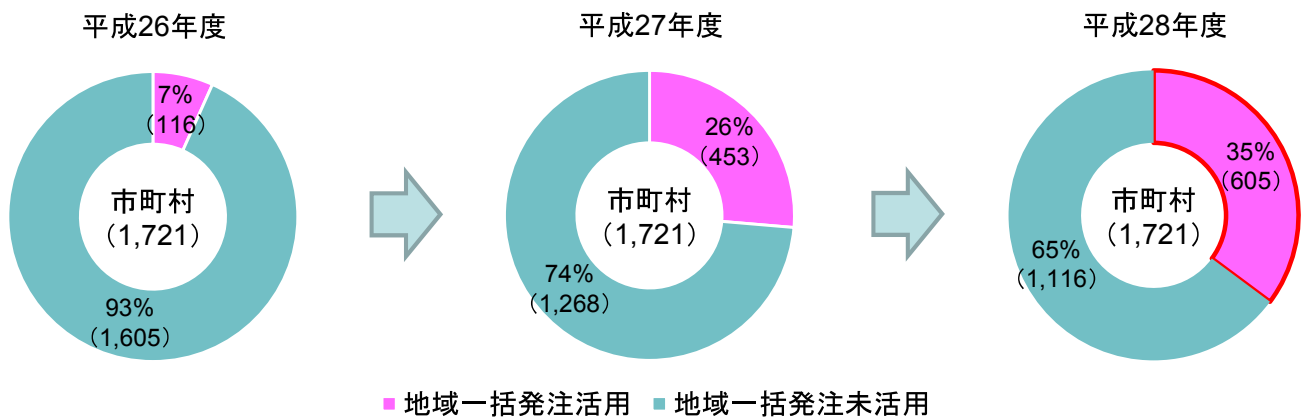
※1 平成26～28年度に判定区分Ⅳと診断された橋梁の措置状況 (平成28年度末時点)

※2 平成26・27年度に判定区分Ⅱ、Ⅲと診断された橋梁のうち、修繕 (設計を含む) に着手した橋梁の割合 (平成28年度末時点)

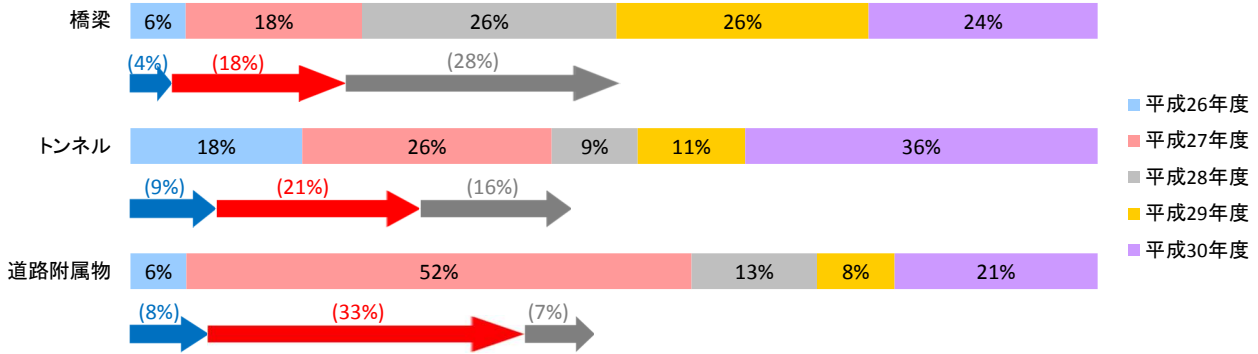
地域一括発注の実施状況

- 市町村の人不足・技術力不足を補うため、市町村の点検・診断の発注事務を都道府県が一括して実施。
- 平成28年度は、605市町村 (38道府県) が地域一括発注を活用。

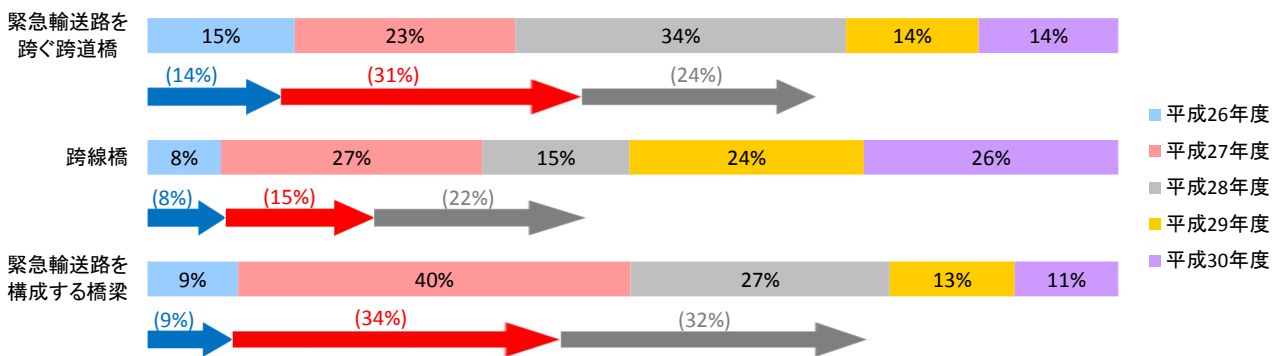
市町村における地域一括発注の活用状況



○各構造物



○優先で点検すべき橋梁

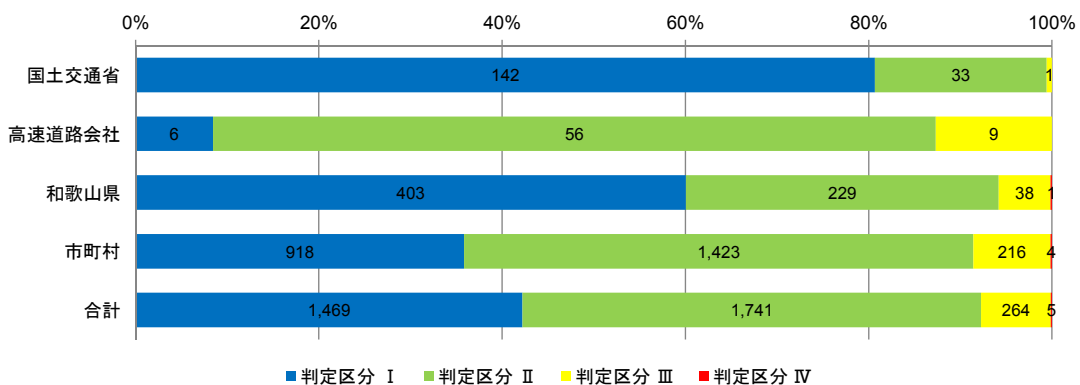


和歌山県内の平成28年度点検結果(橋梁)

<平成28年度 管理者別点検結果(橋梁)>

管理者	管理施設数	点検実施数	判定区分			
			I	II	III	IV
国土交通省	709	176	142	33	1	0
高速道路会社	181	71	6	56	9	0
和歌山県	2,405	671	403	229	38	1
市町村	8,816	2,561	918	1,423	216	4
合計	12,111	3,479	1,469	1,741	264	5

橋梁の判定区分

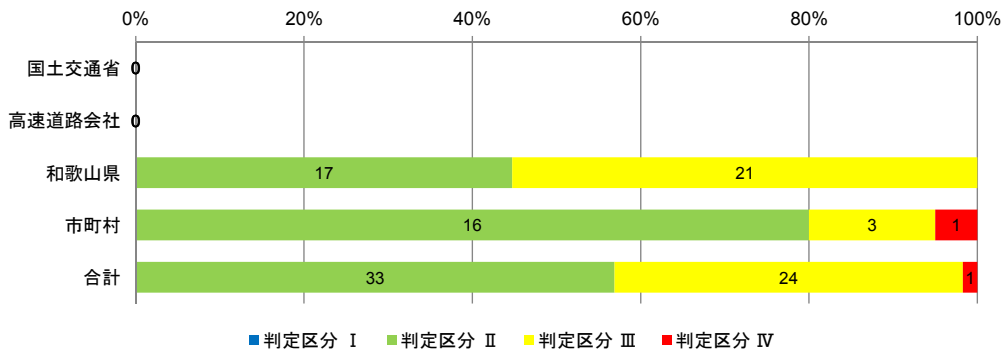


和歌山県内の平成28年度点検結果(トンネル)

<平成28年度 管理者別点検結果(トンネル)>

管理者	管理施設数	点検実施数	判定区分			
			I	II	III	IV
国土交通省	80	0	0	0	0	0
高速道路会社	24	0	0	0	0	0
和歌山県	165	38	0	17	21	0
市町村	106	20	0	16	3	1
合計	375	58	0	33	24	1

トンネルの判定区分

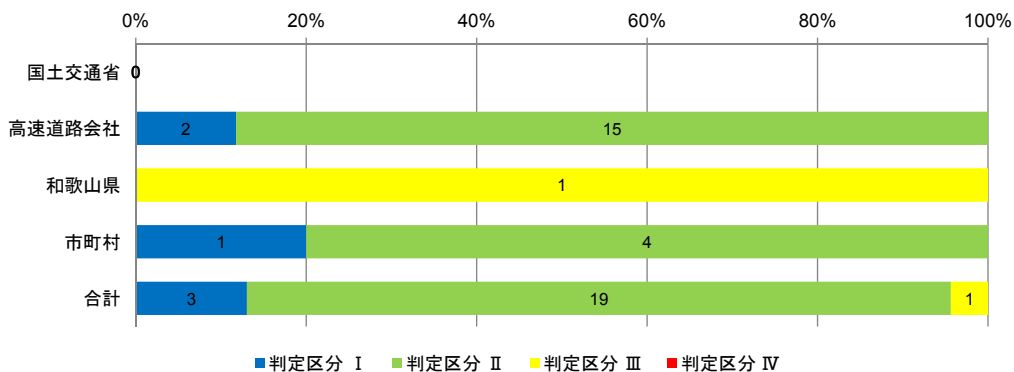


和歌山県内の平成28年度点検結果(道路附属物等)

<平成28年度 管理者別点検結果(道路附属物等)>

管理者	管理施設数	点検実施数	判定区分			
			I	II	III	IV
国土交通省	137	0	0	0	0	0
高速道路会社	49	17	2	15	0	0
和歌山県	91	1	0	0	1	0
市町村	35	5	1	4	0	0
合計	312	23	3	19	1	0

道路附属物等の判定区分

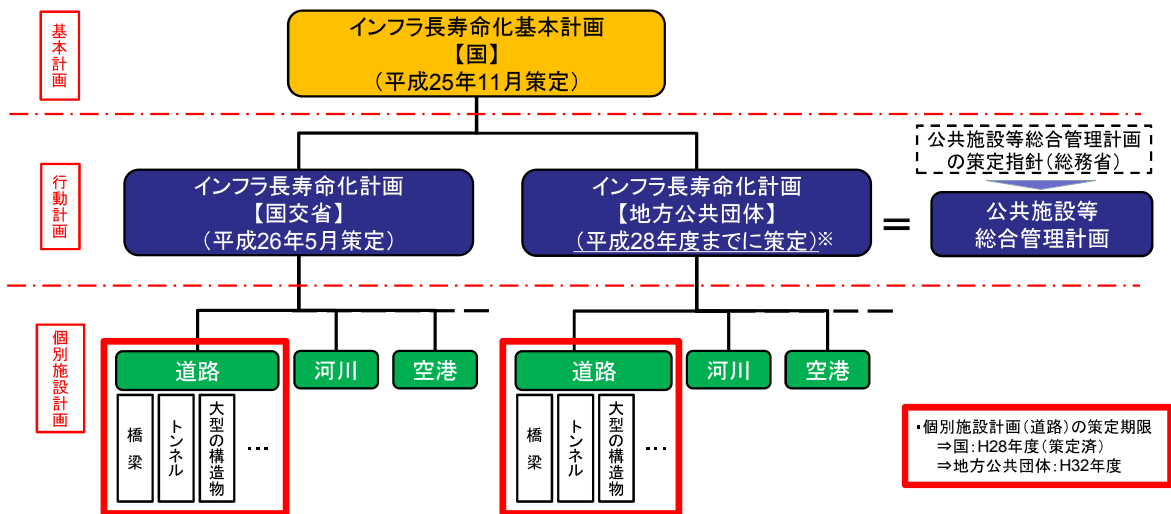


(6)個別施設計画の策定状況(平成28年度末時点)

- 各道路管理者は、橋梁・トンネル・大型の構造物定期的な点検・診断の結果に基づき個別施設計画※を策定（地方公共団体は平成32年度までに策定予定）。
- 平成28年度末時点の個別施設計画の策定率は、橋梁で約65%、管理者別では、都道府県・政令市等約75%、市町村約64%。
- その他、トンネル及び大型の構造物の策定率は、それぞれ約26%、約31%。

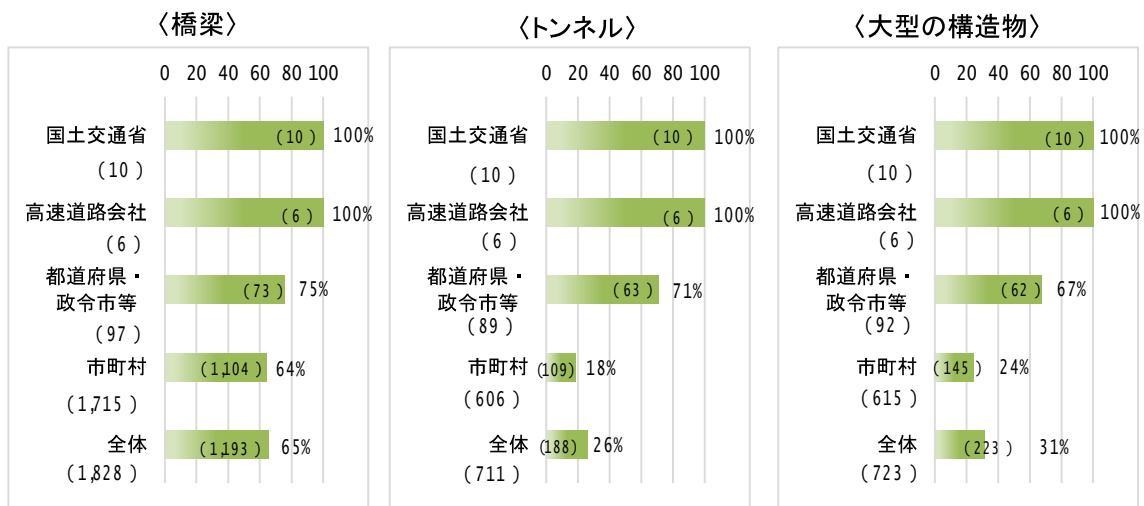
※維持管理・更新等にかかるトータルコストの縮減・平準化を図る上で点検・診断等の結果を踏まえた個別施設毎の具体的な対応方針を定めた計画

○インフラ長寿命化計画の体系



※1,825 団体中 1,809 団体で策定済み(平成28年度末時点)

○個別施設計画の策定状況(平成28年度末時点)



※()は団体数 ※市町村は特別区を含む

※割合は個別施設計画策定対象の施設を管理する団体数により算出

※大型の構造物は横断歩道橋、門型標識、シェッド、大型カルバートであり、いずれかの施設の個別施設計画が策定されていれば策定済みとしている